

競技注意事項

1 競技事項について

本大会は令和4年度日本陸上競技連盟規則により行う。

2 練習について

- (1) 本競技場での練習は、両日とも8:30までとする。それ以降は補助競技場を利用すること。ただし、跳躍および投てき種目の練習（用具を持たずにターンや助走の練習は可）の補助競技場の使用は禁止とする。
- (2) 跳躍および投てき種目の本競技場での練習については、プログラム記載の競技開始時刻40分前から10分前（30分間）までとする。

3 招集について

- (1) 招集は各スタート地点・競技場所において、プログラム記載の競技開始時刻10分前より行う。
- (2) 招集完了時刻に遅れた者はその競技種目に出場できない。ただし、他の種目に出場していて招集時刻に間に合わない場合は、1種目目の招集完了時刻までに競技者係（第4コーナー付近器具室内）にその旨を申し出て役員の指示に従うこと。
- (3) 混成競技の第1日目、第2日目の最初の競技種目については、競技日程記載の時刻とする。ただし、以降の競技種目は混成競技役員の指示に従い、混成控室に集合すること。
- (4) 欠場をする場合は、招集完了時刻までに「欠場届」に必要事項を記入し、第4コーナー付近器具室内の競技者係に提出すること。ただし、事前にわかっている場合は、「欠場届(団体用)」に記入の上、該当種目実施日の8:30まで上記と同場所に提出すること。

4 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは選手登録時に配布されているものを、そのままの形でユニホームの胸部と背部に着けること。ただし、跳躍種目に出場する選手は、胸部または背部のいずれか一方でよい。
- (2) トラック競技に出場する選手は、選手登録時に配布されている腰ナンバーカードを右腰につけること。ただし、1500m以上の種目については、招集時に配布される通し番号の腰ナンバーカードをつけること。
- (3) 今大会は、大学生についてのみ前年度学連登録ナンバーの使用を認める。

5 トラック競技での不正スタートは1回で失格とする。

6 リレー競技について

- (1) リレーチームの編成は、各ラウンドとも「リレー・オーダー用紙」に記入し、招集完了時刻の1時間前までに第4コーナー付近器具室内の競技者係に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。
- (2) リレーに出場するチームは、同一のユニホームを着用すること。
- (3) リレーチームの編成メンバーについては、日本陸連競技規則 TR24.10 に則る。

7 競技用具は、原則として会場備え付けのものを使用する。

8 スパイクシューズのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投においては、12mm以下とする。ピンの数は11本以内とする。

9 シューズの靴底（ソール）の厚さについて

- a シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
- b トラック種目について、800m未満の種目（4×100mR、4×400mRを含む）は20mm以下、800m以上の種目は25mm以下とする。ただし、競歩については40mm以下とする。
- c フィールド種目について、三段跳以外の種目は20mm以下、三段跳は25mm以下とする。また、シューズ前部の中心点のソール厚さは、シューズかかと部の中心点のソール厚さを超えてはならない。

10 競技運営上、下記の制限や競技方法を用いる。

- (1) 男子5000mについてはタイムレースとする。
- (2) 男子5000mWは、3000mを20分以内に通過できなかった選手は競技を中止する。
- (3) フィールド競技において、参加人数が多い場合にはパスラインを設けることがある。
- (4) 投擲種目およびハードル種目は、全て一般の重量および高さ／インターバルで実施する。
- (5) 跳躍競技のバーの上げ方を次の通りとする。ただし、グラウンド・コンディションにより変更する

場合がある。

種 目	性別	練 習		バ ー の あ げ 方								
走高跳	男子	1.65	1.80	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.95	1.98	2.01	…
	混成男	1.35	1.60	1.40	1.43	1.46	1.49	1.52	1.55	1.58	1.61	…
	女子	1.35	1.50	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	1.64	………	
	混成女	1.10	1.30	1.15	1.18	1.21	1.24	1.27	1.30	1.33	………	
棒高跳	男子 混成男	2.20	4.00	2.40	2.60	2.80	3.00	3.20	3.30	3.40	………	
	女子	2.00	2.80	2.20	2.40	2.60	2.70	2.80	2.90	………		

11 表彰について

- (1) 表彰は各種目 3 位まで行う。表彰式は行わず、成績発表後にロビーの机の上に賞状を置き並べるので各自持ち帰ること。ロビー入り口外北側に 1 位から 3 位までの表彰台を用意するので、密にならないよう最大限注意し、写真撮影をしてもよい。
- (2) 優勝者には福井陸上競技協会より記念品が贈呈される。

12 選手の移動、応援およびテント設営について

- (1) 係・役員以外の本部前の通行は禁止とする。ただし、競技役員誘導の下退場する場合は、その限りではない。
- (2) テント設営は、補助競技場のトラック周りやメイン競技場芝スタンド裏側など、周辺の通行に支障がない箇所に設置を認める。競技場と県営体育館の間の円芝生への設置は認めない。また、メインスタンドダックアウトについては、密を防ぐため、場所取りやテントの設営などの使用を禁止する。
- (3) メインスタンドでの集団応援や立っての応援及びテント設営は禁止する。
- (4) 更衣室にシートを敷いての場所とりや独占は禁止する。また、密を防ぐため、最大 15 名定員で更衣が終了次第すぐに退出すること。係員の指示に従うこと。
- (5) 「のぼり」「横断幕」の設置はメインスタンドの最上段のみとする。

13 トラック種目の衣類運搬について

本大会は、衣類運搬を行わないので、本人が出走した地点へ戻ること。

14 助力については、日本陸連競技規則第 144 条に則り禁止する。

競技規則に則った助言は認めるが、競技区域近くのスタンドに設けたコーチングエリアのみとする。

15 肖像権侵害・不審者対応について

- (1) 本大会は無観客で実施するため、撮影許可証は発行しない。
- (2) 報道等で撮影を行う場合は、必ず事前に受付をして、主催者が用意したビブスを着用すること。
- (3) 撮影対象が競技会方針と異なると思われる場合は、記録内容の確認を求められることがある。事案によっては、警察に引き継ぐこともある。
- (4) 観戦をしている中で、競技運営に重大な支障をきたすような発言やヘイトスピーチと取られる発言や看板等の掲示があった場合、または他の観戦者に迷惑を掛けていると判断した場合は退場を求める。

※肖像権：承諾なしに、また正当な理由なく自分の肖像を写真や絵画、彫刻などに写し取られたり、公表あるいは使用されたりしない権利